

Welcome back, NZ coaches !

Akaiwa City Olympic Legacy series Elite Coach Invite 10-15 Sept. 2024



この事業は、企業版ふるさと納税制度により、
企業からの寄附を運営の一部に活用しています。

昨年度末、3月に来市したコーチ2人を含む4人の次世代育成コーチたちが再び赤磐市との交流のため来日。新たに元オリンピック出場選手や代表選手として活躍した仲間を連れて来てくれました。予想外の猛暑の9月に、汗だくになりながらも、「子どもたちのやる気と笑顔が最高！」と熱心に指導をしてくださいました。「仲間とは」「チームワークとは」「チャレンジすること」「夢を語ること」などホッケーを通じて子どもたちにたくさんのメッセージと笑顔をお届けしてくれました。

2020東京オリンピック後から続けているホストタウン交流。今回新型コロナ終息後、6回目となる交流で、より多くの子どもたちとホッケーを通じた交流を実施。滞在期間中、のべ800人以上の市民と交流しました。2 coaches from the last visit in March 2024 brought 2 new coaches including former Olympian and representative player. Despite of the unexpected heat over 35°C everyday, they delivered the goods with passion. Through hockey and sport, we shared the great value of friendship, teamwork and challenging spirit. This is our sixth Olympic Legacy event since post Covid19. NZ coaches interacted over 800 citizens and hockey players in Okayama.





音楽をかけての準備運動。明るくご機嫌なN Zコーチたちとのホッケー体験。地域の方も含めて幼稚園遊技場で実施しました。年齢に合わせて短いホッケースティックをもってチャレンジしました。

Music and happy energy from coaches. Kids tried hockey with short sticks and indoor balls. People from the community joined us and we had a great fun afternoon! Thank you and Peace!



9月10日



「マノジはめちゃおもしろい人で、とても仲良くなれた。英語をもっと上達させたい。」中3男子生徒



NHK岡山 NEWS
WEBでの放送



放課後ホッケー指導

前回からの上達ぶりにコーチたちもびっくり！N Zのコーチたちと直接コミュニケーションをとりながら、指導されることを吸収していく中学生たち。すばらしい！！



“Great improvement!” Manoj Daji sees the improvement of players skill and mindset.



9月11日・12日・13日

小学生との交流はホッケーを通じた交流や、外国語学習の時間、給食＆昼休み時間に交流をしました。ニュージーランドの公用語は英語とマオリ語。マオリ語でのあいさつをコーチたちは教えてくれました。こどもたちの積極的に授業に取り組む姿や、器用さに驚くコーチたち。お腹がすいているはずの4時間目で、こんなに姿勢よくみんなが前を向いて座り、授業に参加しているなんてアメイジング！

児童とすぐに仲良くなりたいという理由で、ローマ字の名札をみんなにつけてもらう準備をしていました。コーチたちは、すぐに名前を呼んで、「君はどんなことが好き？」「スポーツはやってる？」とコミュニケーションをとっていきます。そんなコーチたちと打ち解けるのは一瞬でした。お別れの時間は「サインプリーズ！」と行列ができました。マジックで腕に直接書いてもらい大喜びの児童もいました。



こどもたちの折り紙や工作に、コーチたちは感心。
A Pupil showing her Origami work



青く広い人工芝の上で、ボールあそびやホッケーをしながら交流しました。
On the blue turf, under the blue sky, we had a lot of fun.

チームワークで大事なことは何ですか？ What is important for the team-work?

コミュニケーションだよ。ことばで伝えることだけがコミュニケーションじゃない。しぐさだったり、目線だったり。チームで活動するとき以外の時間も大切。友達は何が好きか、何に興味があるのかを知ることが大切。Communication is the key. Communication is not only verbal but also eye contact and body language. It is important what you do with your friends and teammate off the pitch. Getting to know more about your teammates such as what they like, what they are good at and interested.

覚えておいてほしいこと Important things to remember

競い合うことは健全なこと。だってみんな友達だけど、今日こうしてホッケーで対決して汗を流した。すごく楽しかったでしょ？競うことは悪ではない。競い合い、高め合う。協力して目標に向かうのはスポーツでもスポーツ以外でも大人になってからも必要なこと。Competing is healthy. We are good friends but we played hockey, had competition today. Helping each other, aiming the same goal. We do the same when you grow up and working in a team.

将来何がしたい？ What do you want to do and be in the future?

将来やってみたいことや自分の夢は、どんな小さなことでもいい。人に話しておくことが大事。そうすれば思いもよらぬタイミングで、周りが助けてくれる。人に話すことで自分の中ではっきりすることもある。君たちは可能性に満ちている。夢や志を語ろう。Let's speak out and share what you want to do and what you have in your mind. Then people around you can help you and will help you unexpectedly. Output what you have in your mind will help you make your mind clearer.



中学生から交流後の感想 Feedback from students

- ・体を動かすと、学年や国の違いを超えて楽しむことができた。
- ・スポーツを通じてつながることができて、スポーツの力に驚いた。
- ・パッション（情熱）で動けば楽しい。
- ・ホッケーはチームワークが大切で、どう連携するかで楽しさが変わるとおもった。
- ・初対面でも一緒に体を動かすと楽しいしきもちいい。
- ・惜しかった時、上手くいったとき、コーチがハイタッチなどをして声をかけてくれたので、前向きな気持ちになれた。
- ・はじめはどう関わればよいのか分らなかったけど、コーチたちが明るく接してくれて意思疎通ができた。
- ・英語はわからなかったけど、アイコンタクトやジェスチャーなどで通じ合えてうれしかった。
- ・自分の英語が通じてうれしかった。
- ・コーチがフレンドリーで一緒にいるだけで楽しかった。
- ・国や言語が違って、ちゃんと通じ合えたのは気持ちの問題だと思った。伝えようと思えば伝わる。

中学生との交流では、ホッケー競技を通じてチームワークについてや、将来のこと、人生のことについても話す機会をもち、1時間に大切なことがギュッと詰まった交流となりました。NZからのコーチたちのお蔭で、新しい考え方に触れたり、お互いの共通点を見つけることができたりと、スポーツを通じた国際交流の醍醐味を感じられる時間となりました。

NZのコーチたちは次世代育成に関わってきている経験からか、地域スポーツを支えるスタッフや、学校で働く先生方への労いの言葉も多くかけてくれました。ニュージーランドは日本から学ぶことがたくさんあるというコーチたち。お互いに刺激を受け、これからも赤磐市とニュージーランドがよい友人関係でいられることを祈願して、お互いに“ありがとう”、“これからもよろしく”とエールを贈りあいました。ホッケー競技から広がる人とのつながり、世界へのつながりをさらに多くの市民のみなさんと感じることができるよう、これからも赤磐市は交流を続けていきます。





あつい!! Water Fun!
水あびだ!! Hockey Fun!!
ホッケーだあ!!



9月14日・15日

週末の熊山運動公園多目的広場でのホッケー交流は、おなじみの赤磐市消防本部の協力で、放水体験、心肺蘇生等の救急教室も実施しました。また岡山県ホッケー協会の協力のもと、赤磐市や岡山市の小中学生、高校生の指導者にも協力いただき。気温35度近くの暑さの中、10分ごとに水浴びをしながら交流。30組以上の親子、県内の小中学生、高校生ホッケー競技者、消防士、ホッケー指導者と週末だけで約200人の参加者と交流しました。On the weekend, over 200 people including families, hockey players, fire fighters and community coaches came on the pitch. We had Spray of water every 10 mins to cool down. Firefighters demonstrated and we had CPR and AED learning session at the end of the day.



ホストタウン交流担当者所見：今回特に大きく変化を感じたのは、ホッケー交流中の子どもたちの様子。外国人コーチの指示を直接理解し動こうとする参加者のみなさん。前回までに見られた、日本人コーチや通訳を頼る視線はなく、どんどん活動に参加していく様子に驚きとともに、続けていてよかった！とうれしくなりました。言葉や習慣の違いを壁と感じていない様子を、スポーツから広がる心のバリアフリーを感じました。
Barrier-free Mindset It was great to witness that everyone was communicating, trying to understand each other, working together and having a good time playing sports. The Language and cultural difference was no longer a barrier but something wonderful to have. Akaiwa City PIC

ホッケー競技者が集まった交流では、技術的な練習に加えて、基礎となる判断力や発想の転換の練習も行われた。選手たちが自分で判断して、即行動できるようにする。脳の動きと回転の速さをトレーニングする仕掛けが組み込まれた練習。説明はさておき、やっているうちに自然に身につくということで、どんどん体と脳を動かしました。指導者にとっても新鮮で有意義な機会となりました。



Quick decision making and clever thinking training.

Athletes are often tactile learners. Good coaches talk less. Let's move and let them learn.

地域の宝を地域で育てよう！

ホッケー競技指導に加え、地域の子どもたちを長く地元で育て、地元競技力のベースを上げ、将来のロールモデルにすこと、地元から世界に羽ばたくアスリートを育成し、愛着を持ってもらうなど、スポーツを通じての人間育成や地方創世のアイデアまで幅広く意見交換する交流となりました。

People are our greatest treasure in community. Support local talents in our community.

The conversation with NZ coaches and local hockey coaches has developed from hockey skills to human resource development and community engagement & support through sports.
Big Thanks to Manoj Daji, Michelle Walker, Paresh Patel and Manoj Parbhu for the generosity of sharing your experience and wisdom!



指導者座談会の様子

